

## 平成27年度 前期授業評価の結果について

平成27年10月28日

宮城県志津川高等学校 教務部

本校では、前期と後期の年2回、授業をよりよく改善していくために、教員の授業について下記の①～⑭項目に関し生徒による授業評価を行っております。

今年度の前期授業評価について、結果・分析がまとまりましたので報告いたします。

### 1 アンケートの実施結果（教科別）

実施日 平成27年9月10日～24日

\* 各項目について

【そう思う＝4 ややそう思う＝3 あまりそう思わない＝2 そう思わない＝1】と点数化し、

それを平均したものが以下に示される数値です。その際、平均値は2.5になります。

『あなた自身に関する質問事項』	国語	社会	数学	理科	英語	保体	家庭	芸術	情報	商業	平均	昨年度（後期） の数値
①先生の話を理解しようと努めている。	3.6	3.5	3.7	3.5	3.5	3.6	3.7	3.6	3.3	3.5	3.6	3.5
②分からないことは、誰か（先生や友達）に質問するようにしている。	3.3	3.1	3.4	3.2	3.1	3.4	3.2	3.4	3.3	3.1	3.2	3.2
③予習をして授業に臨んでいる。*体育、音楽、美術については回答せず、保体は保健のみの数値。	2.6	2.3	2.3	2.4	2.5	2.7	2.4	-	2.4	2.3	2.4	2.2
④復習をして授業に臨んでいる。*体育、音楽、美術については回答せず、保体は保健のみの数値。	2.7	2.5	2.6	2.6	2.5	3.0	2.5	-	2.4	2.4	2.6	2.4
⑤提出物の提出期限を守っている。	3.5	3.6	3.6	3.5	3.5	3.6	3.6	3.6	3.2	3.3	3.5	3.5

『先生や授業に関する質問事項』	国語	社会	数学	理科	英語	保体	家庭	芸術	情報	商業	平均	昨年度（後期） の数値
⑥先生は十分な準備をしている。	3.5	3.6	3.6	3.5	3.4	3.6	3.6	3.6	3.3	3.4	3.5	3.4
⑦授業では大切なポイントが示されている。	3.6	3.6	3.7	3.4	3.4	3.7	3.6	3.6	3.1	3.4	3.5	3.4
⑧授業の進む速さは適切である。	3.5	3.5	3.5	3.3	3.3	3.6	3.5	3.6	3.1	3.3	3.4	3.3
⑨先生の指示がよくわかる。	3.5	3.5	3.5	3.3	3.2	3.6	3.5	3.6	3.0	3.3	3.4	3.3
⑩板書が見やすい。*体育については回答せず、保体は保健のみの数値。	3.5	3.5	3.6	3.3	3.3	3.3	3.5	3.5	3.0	3.3	3.4	3.3
⑪先生は生徒の反応を大事にしている。	3.6	3.5	3.6	3.4	3.2	3.6	3.5	3.6	3.2	3.4	3.5	3.4
⑫使用している教科書や副教材は学習に役立っている。	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.5	3.3
⑬定期考査（または実技試験）の内容は、授業に沿ったものである。	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.7	3.6	3.6	3.4	3.4	3.5	3.4
⑭授業を通して得たものは多い。	3.4	3.4	3.4	3.3	3.2	3.6	3.5	3.6	3.3	3.4	3.4	3.4

⑮授業をよりよくするためにどうしたらよいか、意見や要望があったら書きなさい。

- ・口頭で訳を言うときたまに聞き逃してしまうことがあるので、強調して言って欲しい。（国語）
- ・DVDなど映像を使った授業をしたい。（社会）
- ・もう少し進むスピードが早くてもいいと思う。（数学）
- ・授業の進むスピードは、もう少しゆっくりの方が分かりやすい。（英語）
- ・授業の進むスピードが少し早いこと、答え合わせがないことが不安。（商業）

## 2 アンケートの結果分析

### 【全体分析】

「あなた自身に関する質問事項」では、いずれの項目においても昨年度の値を上回るか横ばいという結果となり、生徒が意欲的に授業に臨んでいる様子がうかがえる。また、提出物の期限を守る習慣が身につけている生徒が多いようである。だが、その一方で昨年度より値は上がったものの、依然として予習・復習の習慣が身につけている生徒が少ないという問題が明らかになった。

「先生や授業に関する質問事項」では、⑭を除く全ての項目で昨年度の結果を上回る結果となった。日頃から授業改善に取り組んでいる成果が表れたものと考えられるが、予習・復習の習慣を身につけられるような授業展開を工夫するなど、改善の余地はまだあると考えられる。

この結果を踏まえ、後期の授業評価においては改善された結果があらわれるよう、教科担当をはじめ職員一丸となって授業改善に取り組んでいきたい。

### 【教科ごと】（項目1. データの分析、項目2. 後期の授業に向けての対策）

国語	1	積極的に授業に臨もうとする意欲が見られる一方で、予習・復習の習慣が身につけていないことがうかがえる。
	2	事前に語句の意味を調べさせる、また、小テストをこまめに行うなど、予習・復習の習慣が身につくような授業展開を工夫していく。
社会	1	全体的には平均値より高くなっているが、分からないままにしている生徒や、予習・復習が不十分な生徒が依然として多い。
	2	身近な社会問題や新聞・テレビのニュースなどから時事問題を取り上げ生徒の関心を高めるとともに、課題や小テストを継続的に実施したり、前時の振り返りや次時の予告などを通して予習・復習の必要性を実感させるように工夫していきたい。
数学	1	③、④の数値が低い。予習・復習の習慣が定着していないことがうかがえる。
	2	提出物への意欲は高いので、課題等の提出と絡めながら予習・復習の意識付けをする。
理科	1	予習・復習をしている生徒は少ないが、提出物の期限を守るなど授業へ向かう姿勢は良好であることが読み取れる。
	2	・分からないことをすぐに質問できるような環境・関係づくりを心がける。 ・理科よりも他教科の予習を優先するよう指導している分、授業時間でしっかり理解・定着させられるような工夫が必要である。
英語	1	予習・復習をしっかりと行って授業に臨む生徒が少ない。
	2	来年度は習熟度の授業を充実させ、学びやすい環境を提供するようにしたい。
保体	1	保健については意欲的に取り組む生徒が多い反面、予習・復習に取り組む生徒が少ない。
	2	授業時数の確保と、授業のねらいを達成できる指導方法の工夫を行っていきたい。
家庭	1	③、④が低い。他は、3.5以上で推移している。
	2	予習・復習の定着を図るため、課題を出すなど工夫をしていきたい。他の項目に関しては、分かりやすい授業づくりをしていきたい。
芸術	1	合唱コンクールの練習がメインであったが、楽典（理論）などで教材を活用していきたい。
	2	不明な点を質問する生徒が少ない。授業中が難しければ授業時間以外でも質問できるよう、工夫や改善が必要である。
情報	1	予習・復習の習慣が無い生徒が多い。宿題を課した時はできているので、自主的に取り組む姿勢があると良い。
	2	教員の指示のスピードや明瞭さは、生徒の実態に合わせる必要がある。プロジェクト等は、精度の高い調整をする。
商業	1	予習・復習の習慣が、どの学年でも定着していない。ただし、課題等の提出するという意識は高い。
	2	検定科目などは、特に「復習」が力を伸ばす鍵となるため、週末課題等に商業科目の課題を課す機会を増やし、「復習」の習慣づけをしていきたい。